

1 目 的 近年介護職員の腰痛による離職・休職、また労働災害が著しく増加傾向にあり、対策として個人でなく施設全体で取り組む必要があることから、一連の腰痛予防関連の研修を受講した施設を「チャレンジ施設」と認定し、施設内の腰痛予防の促進につなげてもらう。

## 2 目 標

- (1) 施設での組織的な取組みを理解し、施設全体で腰痛予防の認識・意識を向上させる。
- (2) ボディメカニクスを活用した介助法を身につける。
- (3) 福祉用具を活用した基本的介助の知識・技術を習得する。
- (4) 利用者の身体状況に合った介助法を習得する。
- (5) 上記(1)～(5)の知識・技術を身に付けた後、将来のモデル施設認定を目指す。

3 実施機関 一般社団法人茨城県福祉サービス振興会（以下「事務局」という）

4 対象施設 腰痛予防指導者育成研修（事務局開催）受講済み施設 ※令和8年度受講予定施設含む

5 認定施設数 6～10施設

6 認定方法 事務局が開催した一連の研修（下記 「7研修内容」参照）を受講した後、「認定証」を発行

## 7 研修内容（予定）

●年度初め 選定した候補施設同士の交流会（ZOOM形式）

①腰痛予防モデル施設研修受講 3時間（1施設以上、施設訪問形式）講師：各モデル施設職員

＊組織的な腰痛予防の必要性・取り組みについて理解する

②移動移乗技術研修受講（会場集合形式） 4時間

第1会場 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 第2会場 土浦市亀城プラザ いずれか

＊ボディメカニクスの再確認、スライディングボード・シートを使用した介護技術を学ぶ

講師：黒木 勝紀 氏

③介護リフト研修受講（会場集合形式） 2.5時間

第1会場 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 第2会場 土浦市亀城プラザ いずれか

＊介護リフトを使用した持上げない介助について、正しい操作法を学ぶ 講師：松崎 佐一郎 氏

④フォローアップ施設内研修受講（施設訪問形式）※任意

＊②③で学んだ技術について担当講師が施設へ訪問し、各施設に合った技術を指導する

●年度末 取組みの成果報告（ZOOM形式）

## 8 その他

- ・一連の研修は対面を基本とする。①の研修はチャレンジ施設、モデル施設間で日程を調整する。
- ・内容を変更をする場合があります。

[事務局] 一般社団法人茨城県福祉サービス振興会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918（セキショウ・ウェルビーイング福祉会館5階）担当：荒井、清水

TEL 029-244-4425 FAX 029-244-4463 Email iba-kaigo.2f@ab.wakwak.com